



郡市医師会 だより

平成22年度 札幌市医師会医政講演会
平成23年3月7日

「今後の日本の政局 (政権を巡る抗争) と世界経済の行方」

講師：評論家 副島 隆彦

札幌市医師会
政策部長 宮崎 誠一

副島先生には、わざわざお忙しい中、来札していただきました。著書も多数あり、年2回は執筆されているようです。副島先生は、日米の政財界、シンクタンクなどに独自の情報源を持ち、副島国家戦略研究所を主宰し、リーマン・ブラザーズの破綻を予言、的中されました。今回は上記テーマで講演していただきました。

最初からトーンは上がり、アメリカに日本の資本が収奪されていると絶叫され、日本の富裕層は、その財産をアメリカに持っていかれるだろう。日本の株価は2013年で底を打つとし、金価格に関しても現在の2倍に上昇するだろうと予言されています。ただ、金は有事には売れないとのことでした。

日本の金利に関しても、アメリカの低金利政策の



副島 隆彦 講師

余波で、ゼロ金利政策を日銀の抵抗をはねのけて継続させている等、アメリカ批判が続きました。日本の政界では小沢氏を信頼し、今の民主党の小沢追い落としの施策に文句をつけていました。またアメリカの財界人、ロックフェラー家についても、日本のトヨタ一族との関係、政治家の前原との交友関係にも触れておられました。アメリカに追従して行っている現状を嘆いておられました。

講演時間も30分延長して話していただき、質問もありましたが丁寧に答えていただき、非常に熱気に満ちた講演会でした。



会場の様子(札幌市医師会館)